

# コンチェルト

Vol.5-10 (2014.7.24発行 第5回コンクール関連 第10号)

## インタビュー ソヌ・イエゴンさん (第5回仙台国際音楽コンクール・ピアノ部門優勝)

第5回仙台国際音楽コンクールで優勝されたソヌ・イエゴンさん(韓国)がこの6月に来日されました。6月20日に浜離宮朝日ホールで行われた優勝者記念リサイタル東京公演の翌日に仙台でインタビューさせていただきました。

### 先週の仙台フィル定期演奏会ではモーツァルトの「戴冠式」を演奏されました。

昨年12月にも仙台に来ていますので、これが3回目の来仙です。毎回、皆さんから歓迎していただいていると感じて、まるでこの街が第二の我が家のように感じます。また、今回も聴衆の皆さんは非常に熱心に、静かに演奏に聴き入ってくれて感激しました。

事務局の方も親切で、演奏に必要なサポートをしてくれるので、とても助かっています。

### 1年振りの仙台フィルとの共演はいかがでしたか。

仙台フィルは個々の団員も優れた方ばかりですし、集団としても素晴らしいと思います。まるで室内楽のように一緒に音楽を作り出すという感覚を常に持つことができます。指揮者のヴェロさんとオーケストラが、音楽で何を伝えたいかということに対して常に真剣なので、私も楽しみながら演奏できます。コンクールの時もモーツァルトを共演して結果を出せましたし、今回もまた素晴らしい経験をさせていただきました。

### 昨日は東京の浜離宮朝日ホールでの優勝記念リサイタルでした。

東京は滞在するのも、演奏するのも初めてでした。仙台では自分の街のような感覚で演奏できるのですが、東京は初めてだったので少しナーバスな気持ちで演奏に臨みました。比較すると仙台の聴衆の方が寛大で、暖かみを感じますね。演奏した浜離宮朝日ホールは響きも良く、演奏に集中できる環境を整えて頂いたので、安心して演奏することができ感謝しています。

東京はニューヨークに似ていて、賑やかでいつも忙しい街という印象でした。

### 今回の来日は期間が長いので、お好きなコーヒーやワインを味わう機会がありそうですね。

もちろん毎日コーヒーは飲んでいますが、日本のコーヒーは美味しいですね。ワインを飲む機会はまだないのですが、日本酒はもう飲みました。とても美味しかったです。アメリカでもよく「熱燗」で飲んでいますが、この後のレコーディングまで2日ほど時間がありますので、楽しむ時間を作ればと思っています。

### ピアノを始められたのは8歳と聞きました。

小さい時すでに二人の姉がピアノを習っていて、それが羨ましくて私もピアノをやりたいと母にお願いしました。私は競争心の強い子供だったのだと思います(笑)。

通っていた音楽教室では自分より小さい子がより進んだ曲をやっているということが非常に悔しくて、自分に与えられた課題曲以外に他の子がやっている曲も練習したりして母を心配させました。そんなことも幸いしたのか、現在の自分があるのだと思います。



### 昨年の仙台のコンクールで、本選以外に今も印象に残っている思い出は何ですか。

一番覚えているのはやはり交流サロンですね。ボランティアスタッフの方がコーヒーを入れてくれたりして、皆さんとても親切にしてくれました。もう一つは「応援メッセージカード」で、私も何通か頂きました。コンクールに出場するという事は、とても厳しい環境なのですが、このカードによって聴衆とつながっているという感覚を持つことができ、本当に嬉しく思いました。ボランティアの皆さんには演奏や生活の環境を整えていただき、感謝しています。

### これから仙台でのレコーディングが控えていますね。

ラヴェルの「ラ・ヴァルス」、シューベルトの歌曲、ラフマニノフを収録する予定です。シューベルトは私の最も好きな作曲家の一人で自分の初めてのレコーディングには必ず入れたいと思っていました。それぞれの曲に込めた私の想いを感じていただけたら嬉しいです。

仙台の皆様のご支援に、改めてお礼申し上げます。今回の来仙でも、多くの方々にお会いできることを楽しみにしています。

お忙しいスケジュールの中、お時間を作っていただいたソヌ・イエゴンさん、ありがとうございました。



第9回

## 仙台クラシックフェスティバル2014

### 開催!

#### 【公演番号7】

10月3日(金) 16:45~17:30  
日立システムズホール仙台 交流ホール  
松山 冨花 (ヴァイオリン)  
津田 裕也 (ピアノ)  
R.シュトラウス: ヴァイオリン・ソナタ 他



松山冨花  
©武藤章



ヴァディム・ホロデンコ



津田裕也

©Christine Fiedler



キム・ボムソリ

#### 【公演番号30】

10月4日(土) 18:45~19:30  
日立システムズホール仙台 交流ホール  
ヴァディム・ホロデンコ (ピアノ)  
ベートーヴェン: ピアノ・ソナタ 第17番  
「テンペスト」他

#### 【公演番号62】

10月5日(日) 12:00~12:45  
日立システムズホール仙台 交流ホール  
山崎 伸子 (チェロ)  
津田 裕也 (ピアノ)  
チャイコフスキー: 夜想曲 他

#### 【公演番号80】

10月5日(日) 18:45~19:30  
イズミティ21 小ホール  
キム・ボムソリ (ヴァイオリン)  
西本 幸弘 (ヴァイオリン)  
津田 裕也 (ピアノ)  
ショスタコーヴィチ: 2つのヴァイオリン  
とピアノのための5つの小品 他

#### 【公演番号46】

10月4日(土) 11:00~11:45  
イズミティ21 小ホール  
キム・ボムソリ (ヴァイオリン)  
小川 有紀子 (ヴァイオリン)  
佐々木 真史 (ヴィオラ)  
三宅 進 (チェロ)  
ドヴォルザーク: 弦楽四重奏曲「アメリカ」  
より 第1楽章 他

#### 【公演番号63】

10月5日(日) 14:45~15:30  
日立システムズホール仙台 交流ホール  
キム・ボムソリ (ヴァイオリン)  
津田 裕也 (ピアノ)  
サン＝サーンス: 序奏とロンド・カプリ  
チオーソ 他

#### 【公演番号82】

10月5日(日) 17:15~18:15  
イズミティ21 大ホール  
ヴァディム・ホロデンコ (ピアノ)  
松山 冨花 (ヴァイオリン)  
山田 和樹 (指揮)  
仙台フィルハーモニー管弦楽団  
モーツァルト: ピアノ協奏曲 第25番  
メンデルスゾーン: ヴァイオリン協奏曲

#### 【公演番号78】

10月5日(日) 13:30~14:15  
イズミティ21 小ホール  
ヴァディム・ホロデンコ (ピアノ)  
ショパン: 舟歌 嬰へ長調、24の前奏曲 他



### コンクールボランティアSの独断と偏見による その他の "おすすめ" は、これだ!

**初日** 【公演番号1】 日立システムズホール仙台コンサートホール 11:30~12:30  
**10/3** せんくら初登場 中村紘子 (ピアノ)  
**(金)** 1,500円の低料金はなかなかありません。

【公演番号10】 エル・パーク仙台ギャラリーホール 18:30~19:15  
スギテツ (ヴァイオリン&ピアノ)・・・E5系・E6系の通過音、警笛 仙山線の踏切音・・・愛と笑いの鉄道クラシック  
仙台一山形間 通勤通学利用者には必聴です。

**第2日** 【公演番号39】 太白区文化センター楽楽楽ホール 15:00~15:45  
**10/4** TIMPANISSIMO!!! 壮観! 8台のティンパニが奏でる讃歌! さとう宗幸とOH! バンデスマン出演  
**(土)**

【公演番号48】 イズミティ21小ホール 16:15~17:00  
〈仙台フィル祭り3〉山田和樹がご案内、素晴らしき合唱の世界〜ルネッサンスから三善晃まで  
合唱コンクールで金賞常連のグリーン・ウッド・ハーモニー、仙台市立第一中学校と富沢中学校の合同演奏は、聴き逃せない演奏。

**最終日** 【公演番号67】 エル・パーク仙台ギャラリーホール 17:15~18:00  
**10/5** 辰巳&三船のトーク&コンサート①「世界を巡るワインの旅」〜音楽とワインの素敵な出会い。  
**(日)** 俳優 辰巳琢朗とピアニストの三船優子のトークが楽しみです。

【公演番号83】 イズミティ21大ホール 19:45~20:45  
サラサーテ&「第九」 「威風堂々」感動のグランドフィナーレ。演奏: 仙台フィル、合唱: せんくら合唱団 (仙台フィルと第九をうたう合唱団、仙台放送合唱団、東北大学混声合唱団有志の3団体による総勢約200名の合唱団が、8月に結成されます。更に今年はNHK仙台少年少女合唱隊も加わり、小学生からシニアまで、世代を超えた歌声で感動をお届けします。) 今年も最後は、「第九」で締めます。今年の指揮は山田和樹。どんな「第九」の演奏になるのか楽しみです。

## 第5回仙台国際音楽コンクール出場者 その後の活躍情報

☆は受賞歴

### <ヴァイオリン部門>

#### ■成田達輝

☆2014年3月 出光音楽賞 受賞  
2014/8/8 (金) ロームミュージックファンデーションスカラシップ  
コンサート (京都文化博物館別館ホール)  
2014/11/27 (木) 九州交響楽団定期演奏会  
(アクロス福岡シンフォニーホール)

#### ■中村太地

2014/10/30 (木) 在ブルガリア日本大使館主催音楽祭  
スタンコフ/ソフィアフィルハーモニー管弦楽団

#### ■リチャード・リン

2014/11/8 (土) 東京交響楽団第625回定期演奏会  
(サントリーホール/東京)  
2014/11/9 (日) 東京交響楽団第86回新潟定期演奏会  
(りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館)

#### ■篠原悠那

2015/1/14 (水) モーニングコンサートVol.81  
(東京文化会館小ホール)

#### ■スティーブン・ワーツ

☆2014年3月 ユーディ・メニューイン国際コンクール

#### ■フョードル・ルディン

☆2014年5月 アンリ・マルトール国際ヴァイオリンコンクール 1位

### <ピアノ部門>

#### ■阪田知樹

2014/10/26 (日) 阪田知樹 ピアノ・リサイタル  
(電気文化会館/名古屋)

#### ■野上真梨子

☆2014年4月 野島稔・よこすかピアノコンクール 1位

2014/8/9 (土) 「のだめカンタービレ」の音楽会

共演：茂木大輔、高橋多佳子、向山佳絵子  
(兵庫県立芸術文化センター)

#### ■浜野与志男

2014/8/16 (土) 浜野与志男ピアノ・コンサート (八ヶ岳高原音楽堂)

#### ■ソヌ・イエゴン

2014/9/12 (金) 秋山和慶のディスカバリー・シリーズ  
「音楽の街を訪ねて」第10回ニューヨーク  
共演：広島交響楽団  
(アステールプラザ 大ホール/広島)

#### ■アルテヨム・ヤスィンスキイ

2014/10/26 (日) 仙台ニューフィルハーモニー管弦楽団定期演奏会  
(東京エレクトロンホール宮城)

#### ■上敷領藍子

☆2014年4月 レオポルド・ベラン国際コンクール 室内楽部門 1位

## ボランティアプロジェクト レポート

「第5回仙台国際音楽コンクール優勝者 リチャード・リン (ヴァイオリン) ソヌ・イエゴン (ピアノ) トーク&コンサート」

6月22日、仙台国際音楽コンクールボランティアが企画・運営したイベント「第5回仙台国際音楽コンクール優勝者リチャード・リン (ヴァイオリン) ソヌ・イエゴン (ピアノ) トーク&コンサート」が開催されました。

会場は、日立システムズホール仙台・交流ホール。

今回で17回目となるこのコンサートシリーズは、現在200名以上が登録している仙台国際音楽コンクールボランティアの有志による「ボランティアプロジェクト」のメンバーで企画・運営されています。

参加は無料ですが、往復ハガキで応募して応募することが必要です。今回は定員300人に対し、2倍を超える600人以上もの応募があったとのこと。第5回仙台国際音楽コンクールの覇者である人気のお二人の演奏を無料で聴くことが最大の魅力ではありますが、コンサートの周知のため、プロジェクトメンバーが様々なコンサート会場でチラシの折り込み作業をするなどの地道な努力があってこそこの応募数だと感じました。

当日は、会場設営はもちろんのこと、照明、音響、プロジェクター操作、譜めくり、会場案内にアナウンス。通訳や司会に至るまでボランティアが担当。まさに「ボランティアの総力をあげてのコンサート」でした。

前半はお二人が用意して下さった留学先の様子などを紹介する写真のスライド上映とその説明。あらかじめ寄せられた質問にも答えていただきました。後半は、ソヌさんがシューベルトとラフマニノフ、リチャードさんがブラームスの楽曲を演奏してくださいました。

アンコールは、初共演のお二人による江間章子作詞・中田喜直作曲「夏の思い出」。

「夏がくれば思い出す」で、はじまるこの曲をアンコールに選曲下さったことに、お二人の日本に対する温かな気持ちを汲み取ることができました。



## 「Charity Concert for Sendai Vol.4」レポート

4月20日、第2～4回の仙台国際音楽コンクールに出場されたピアニスト4人 (佐野隆哉さん、法貴彩子さん、鈴木美紗さん、津田裕也さん) によるチャリティーコンサートが東京で開催されました。

このコンサートは東日本大震災発生直後の2011年4月7日に始まり、仙台のコンクールに出場したピアニストの皆さんの自主運営により毎年継続されています。今回も仙台のボランティアやコンクール関係者有志が会場スタッフとして参加して、手づくり感あふれる和やかな雰囲気の中でコンサートが開催されました。そして今年も、当日の収益金、会場での寄付金を仙台市「杜の都・仙台絆寄付」に寄付して頂きました。このコンサートを継続する皆さんの仙台への想い、そして素晴らしい演奏に心よりありがとうございますの言葉を贈ります。



## 第3回優勝者 近況インタビュー

### ■アリョーナ・バーエワさん（ヴァイオリン部門優勝）

—仙台フィルハーモニー第282回定期演奏会（2014.5.17）への出演後、お話を伺いました。

**コンサートホールでの演奏は久しぶりでしたが、いかがでしたか。**

久しぶりにこのホールで演奏したのですが、震災後、皆さんが多くの困難を乗り越えてここまで来たこと、仙台の皆さんがとても前向きに復興に向かってきていることを感じて、それが大きなインスピレーションの波のようになって私の演奏に命を与えてくれたと感じました。

**震災直後の5月（2011年）には、ツアーの間をぬって来仙し、ヤマハ仙台店の前で演奏してくださいました。**

仙台の皆さんのために何か出来ればと思いました。その時、私は仙台に来る必要を強く感じたのです。

**第3回コンクール後は、結婚してお子さんもお生まれになりました。演奏に変化はありましたか。**

自分では全く感じていません。まわりからは演奏が変わったねと言われたりもしました。でもそう言われるのも毎年のことなので（笑）ただ、精神的な私の人生に対する考え方や視点は大きく変わったと思います。

**第4回のピアノ部門で優勝したヴァディム・ホロデンコさんとも多く共演していますね。**

モスクワ音楽院の最終テストの伴奏者として、教授から紹介されたのが最初の共演でした。彼はアメリカにいますが、共演は今でも続けていて、連絡をとりあっています。

—取材後すぐに新幹線で東京に向かったアリョーナさん。仙台でホロデンコさんとの共演が実現したら素晴らしいですね。



### ■津田裕也さん（ピアノ部門優勝）

—仙台フィルハーモニー管弦楽団「オーケストラ・スタンダード」Vol.9（2014.5.30）に出演された翌日、お話を伺いました。

**現在、取り組んでいる曲は。**

シューベルトのソナタです。11月、東京でのリサイタルで弾きます。メンデルスゾーンも何曲か弾く予定です。

**いくつかのオーケストラと共演されていますが、最も印象に残っているのは。**

やはり、仙台フィルです。小さい頃に仙台フィルを聴いた時から、いつか共演できたらと夢見ていましたが、現実になるとは思っていませんでした。昨夜のコンサートで第2回コンクール（2004年）の時に共演した団員の方から温かく声をかけられ、とても嬉しくなりました。その後の演奏活動が広がっていったのも仙台フィルとの共演のおかげです。

**ドイツでの生活も8年目に入られますが、健康管理、気分転換などは。**

散歩をしたり、カフェに立ち寄ったり、湖まで足をのびしたりします。料理をすることが最も好きで息抜きにもなっています。食材をひたすら刻んでスープを作りおきしたり、ご飯は日本からの玄米を圧力鍋で炊いています。先日も友人たちと餃子パーティーをしました。

**ご家族とのコンタクトは。**

留学当初に兄から勧められてパソコンを覚え、メールとインターネット電話を使っています。

**今年のせんくらにも出演されますね。何かメッセージを。**

今回は、4つの異なるアンサンブルにチャレンジします。それぞれの「違い」を楽しんでください。中学時代に夢になっていたロシアの作品も演奏するので、今から楽しみです。



### ♪ 編集後記 ♪

コンサートの真紅のドレス（イタリア製との事）も素敵でしたが、私服のバーエワさんの清々しいキャンパスルック風も、素顔の彼女に良く似合い、とてもキュートでチャームングでした。こころなしかまわりの男性一同もほんわかムード……。でもこの若さで審査員（ロン・ティボー）就任との事。驚きでもありうれしい事ですね。又ひとり仙台のコンクールからスター誕生の予感。世界に羽ばたいた彼女に応援を。（吾）

いつの日か英語で長いインタビューしたり、記事を書きたいと思っていますが、実力は庭の雑草の様には伸びません。（岡）

実家の庭に咲いた紫陽花、梅雨の鬱陶しい気持ちを晴らしてくれています。梅雨が過ぎれば、暑い夏が、またやってくるのかと思うともう暫く、この気候が続いて欲しいものです。（清）

もうすぐ夏本番の仙台。今年の夏は、どんな素晴らしい音楽に出逢うことができるだろう。楽しみです。（KURI）

今年も「せんくら」のプログラム一覧と首っ引きでマイスケジュールを作った。聴きたい演奏の会場から会場への移動と開始時刻との付き合わせはパズルのよう。嗚呼！聴けなくて残念な演奏がいくつも。（三）

コンチェルト編集～ウィンブルドン～ワールドカップのローテーションで夜更かしと早起きを繰り返した6・7月でした。（川）

これまでの優勝者、入賞者の皆さんの演奏はいかがでしたか？次は「せんくら2014」のステージが楽しみです。（事務局/松）